

あさくらっこおめでとう



山田 七菜ちゃん
令和7年10月7日生(堤)



國武 結依花ちゃん
令和7年10月3日生(桑原)



糸山 結音ちゃん
令和7年10月29日生(来春)



古川 依莉ちゃん
令和7年10月29日生(一木)



柿原 壮ちゃん
令和7年10月27日生(甘木)



坂井 杏咲ちゃん
令和7年10月27日生(小田)



石橋 想大ちゃん
令和6年10月1日生(小隈)



實藤 なのちゃん
令和6年10月10日生(大庭)



荒川 佳澄ちゃん
令和6年10月25日生(甘木)



西畑 奏良ちゃん
令和5年10月22日生(桑原)



倉地 聡輔ちゃん
令和5年10月16日生(日向石)



申込期間 11月生まれ(11月号)の申込は
10月9日(金)まで

申込条件 満1～3歳の子どもが対象。定員18人
(先着順)。申込多数の場合、満1歳の
子どもを優先して掲載します。

申込方法



▲こちらから
簡単申込

メール(jinji-kouhou@city.asakura.lg.jp)
写真データを添付し、子どもの氏名(ふりがな)・生年月日・
住所・連絡先(保護者氏名)を明記。送信後、**市人事秘書課**
(☎22-1117/平日8時30分～17時15分)へ電話して
ください。

子育て講座・イベント情報

家庭教育講座「自主性は赤ちゃんの時から育つ」

こどもの育ち、脳科学や心理的な成長を理解すると、
これからの子育てがもっと楽しく、もっとラクになります。

■日時…11月10日(火)10時～11時
■場所…生い立つ子育て支援センター(生い立つ保
育園内)
■講師…時川ちづるさん(臨床心理士・スクールカ
ウンセラー)

■対象…子育て中のパパ・ママ、子どもに
関わる人

■定員…30人

■申込方法…電話[同センター(☎24-
5203)、メール申込]

■申込開始…10月1日(木)

問 申 市文化・生涯学習課(☎22-2348)



▲メール申込



つながる子育てアプリあさくらっこ
妊娠・出産、子育てまでサポート
アプリダウンロード▶▶▶



10月の催し

母子健康手帳交付

《市健康課》平日9時～16時 **あさくらっこアプリ**で予約。
《杷木支所》15日(木)9時30分～11時30分 電話で予約。
■持ってくるもの
妊娠届出書、マイナンバーと本人確認ができるものなど



◀「親子健康カ
レンダー」に年
間予定も掲載

子育て応援プログラム

※各教室とも、場所はピーポート甘木保健福祉センターです。参
加時には、母子健康手帳が必要です。**あさくらっこアプリ**で予約。

マタニティクラス(母親学級)

■日時…13日(火)9時30分～12時

※8日(木)までに要予約

■持ってくるもの…筆記具

プレパパママクラス(両親学級)

■日時…18日(日)9時15分～12時

※15日(木)までに要予約

もぐもぐ教室

離乳食を始める生後4～6カ月の乳児と保護者の皆さんへ。

■日時…29日(木)10時～12時

■持ってくるもの…筆記具、エプロン、マスク、タオル

すくすく(育児)相談

子どもの成長、母乳、歯みがき、しつけ、トイレなど、ご相談ください。

■日時・場所…14日(水)10時～11時30分/ピーポート甘
木保健福祉センター※8日(木)までに要予約

■期日・場所…15日(木)/男女共同参画センターあすみん

※電話予約

【共通】■持ってくるもの…バスタオル1枚

※母乳相談は別途フェイスタオル3枚持参。

にこにここども相談

■期日…20日(火) ※要予約

■場所…ピーポート甘木 保健福祉センター

乳幼児健診(対象者にはアプリで通知します)

【甘木朝倉地域の人】 ■場所…ピーポート甘木保健福祉センター

対象	期日	時間
4カ月児(令和8年5月生)	6日(火)	
10カ月児(令和7年11月生)	7日(水)	あさくらっこアプリ
1歳6カ月児(令和7年3月生)	8日(木)	で予約
3歳児(令和5年9月生)	9日(金)	

【杷木地域の人】 ■場所…男女共同参画センターあすみん

対象	期日	時間
4カ月児(令和8年5・6月生)		
10カ月児(令和7年11・12月生)	15日(木)	あさくらっこアプリ
1歳6カ月児(令和7年3・4月生)		で予約
3歳児(令和5年9・10月生)		

問 申 市健康課(☎22-8571)

おはなし会

各図書館で、絵本の読み聞かせのほか、わらべうた
と一緒に歌ったり、みんなで手遊びをしたりします。

【中央図書館】

おはなし会(幼児～小学生向け)

■日時…毎週土・日曜日14時～

ぴよぴよおはなし会(0～2歳児向け)

■日時…14日・21日(水)11時30分～

【あさくら図書館】

あかちゃんおはなし会(0～1歳児向け)

■日時…3日(土)11時～

みんなのおはなし会(幼児～小学生向け)

■日時…10日・17日・24日(土)11時～

ハロウィンおはなし会(幼児～小学生向け)

■日時…31日(土)11時～

【はき図書館】

ひまわりおはなし会(幼児～小学生向け)

■日時…10日(土)11時30分～

わくわくおはなし会(乳幼児向け)

■日時…27日(火)11時～

つどおう 子育て広場

親子が気軽に集い交流したり、育児相談を行ったりしています。
詳しい内容や行事などはそれぞれの広場まで。

●子育てほっとサロン「つどいの広場」

(堤1413)(☎080-6439-1851)

●生い立つ地域子育て支援センター

(菩提寺606-1)(☎24-5203)

●ひろにわ地域子育て支援センター

(入地2607-1)(☎080-8352-4178)



▲つどいの広場



▲ひろにわ

Pick Up

救急法講習会

心肺蘇生法やAEDの使用法、緊急時のお子さんへの対応や
日頃家庭でも起こりうる事故の対応などを消防署員から学び
ます。要予約。

■日時…23日(金)10時30分～
11時30分

■場所…つどいの広場

■講師…甘木・朝倉消防署職員

問 申 同広場(☎080-6439-
1851)



シリーズ
人権

戦後の沖縄から考える
「構造的差別」

皆さんは「戦後」と聞くどのような状況を想像しますか。戦争で破壊された町や国の復興、平和な社会を目指して、民主主義などの理念を法律で定め、政治や社会のあり方が変化していく姿などを思い浮かべるのではないのでしょうか。戦争によって失われたものを取り戻すため、また、再び失われないうちに、当時の人々は「平和」の実現に向けて再出発していたのだと思います。

しかし、沖縄での「戦後」はこのような状況とは異なっていました。沖縄戦で投下された約20万トンの爆弾のうち、約1900トンの不発弾が現在も地下に残されたままになっています。また、沖縄に配置されている米軍基地からの有害な化学物質（PFAS・有機フッ素化合物）の流出事故や、米国兵士による少女への性的暴行事件・飲酒運転による事故など、多くの問題が今もなお発生しています。

1951年に締結された日米安全保障条約により、日本が独立をする際に米軍の日本駐留を認めたことで米軍基地が配置されました。その当時の本土と沖縄の米軍基地の割合は、本土が9割、沖縄が1割でした。ところが、本土での基地反対運動の高まりが要因となり、1950年代から1960年代に、米軍統治下にあった沖縄へ基地が集中し、米軍基地割合は沖縄

が5割となりました。加えて、朝鮮戦争を背景として沖縄を極東最大の軍事拠点とすることが進められました。その結果、現在では日本にある米軍基地の約7割が沖縄に集中しています。

この現状を、本土に住む私たちはどこか他人事のように捉え、その負担の重さに関心を寄せることを忘れていたのかもしれない。国全体の課題として議論が進まない中、地域の未来や安全を守るため、今なお沖縄の人々による懸命な訴えが続いています。

また、かつての沖縄戦では本土を守るための持久戦の舞台となり、多くの尊い命が犠牲になりました。戦後もその地理的な重要性などから基地が集約され、今もなお特有の課題に直面し続けています。これは「構造的差別」と言われることもあり、誰かの悪意によるものではなく社会の仕組みなどにより特定の人達を不利にしてしまう状態のことを指します。

私たちが沖縄県民の苦しみや、平和を求める切実な訴えを知ることは大変重要です。沖縄の戦後、これからの平和な社会を、地域や世代を超えてみんなで考えるべきではないでしょうか。

問 市人権・同和対策課（521-174）

今月の1枚 #あさくらいふ

やめられない止まらない朝倉市のブドウ！ 撮影日：令和8年9月2日

まだまだ夏の暑さが残る9月、朝倉市ではブドウが旬を迎えました！朝倉市の美しい水で育った朝倉市のブドウは、みずみずしく、優しい甘みで食べる手が止まりません！朝倉市では、10月中旬から12月上旬にかけて柿が旬を迎えます。



あなたの写真を掲載してみませんか？

自然や文化など「朝倉の魅力を再発見できる写真」を毎月掲載していきます。皆さんからの情報提供や写真の申込をお待ちしています。

掲載の候補となるのは次の写真です。

- ① Instagramで「#あさくらいふ」「#朝倉市」と付けて投稿された写真
 - ② メール（jinji-kouhou@city.asakura.lg.jp）で申込があった写真 など
- ※メール申込の場合、氏名、連絡先、撮影場所・日時、写真に関するコメントを添えて申してください。
※掲載する場合、ご連絡します。

▼申込はこちら



広報文芸

俳句（矢野俊一選）

夕の風切りて飛び交う秋茜
三奈木 甲斐 征男

夜散歩虫の声当て競い合う
美奈宜の杜 宇都 信泰

虫の声ひとりまぐらの子守唄
甘木 岩田 泰徳

山の端に芋名月や亡母偲ぶ
宮野 赤尾 清

初咲きの朝顔小さく空の色
甘木 山下 藍

十三夜供え団子も妻あらば
宮野 井上 隆信

川柳（お題「腕」）（益永克之選）

細腕で苦難乗り越え今がある
一木 田中 妙子

物価高細腕ひとつ切り盛りを
三奈木 古賀 寛子

腕上がらず古希を過ぎても五十肩
菩提寺 北原 妙子

腕前を振るい笑顔の趣味の会
来春 伊藤 佳子

腕痛め痒いところに届かぬ手
杷木久喜宮 佐藤 敬二

手を焼いた腕白坊主イクメンに
荷原 上村 悦子

【広報文芸応募方法】はがきまたは封書に三句以内（一人一通限り）と住所・氏名・電話番号（連絡の取れる番号）を記載し、10月9日（金）までに直接選者に応募。
応募作品は、未発表・自身の作品に限る。応募の際は、今一度、確認ください。

応募は、俳句・川柳のいずれかひとつでお願いします。

■川柳次の題：「女」
【応募先】《俳句》矢野俊一さん（〒838-0068 朝倉市甘木1929-2）
《川柳》益永克之さん（〒838-0061 朝倉市菩提寺523-2）

朝倉の魅力
見つかる、つながる

地域おこし協力隊通信

vol.50

高木地区で迎える初の収穫

高木地区に来てから、初めての秋を迎えようとしています。稲穂も色づき始め、季節の移り変わりを感じています。

4月に地域おこし協力隊として着任してから、活動の一つとして、2カ所の田んぼで地区外の人たちと一緒に農作業をする取り組みを行っています。春は苗箱への種まき、その後は田植え、草取りと、参加者の皆さんと一緒に稲の成長を見ながら作業を続けてきました。参加者から「また来たい」と言っていたいたり、田植えに来てくれた人がその後の草取りにも再び参加してくださったりしたことを、とてもうれしく感じています。田んぼで一緒に作業する時間を通して、高木という場所を少しずつ身近に感じてもらっているのかなと思います。

地域おこし協力隊の普段の活動は、市HPから見られます。

朝倉への移住・定住を検討している人には、お試し居住がおすすめ。詳しくは市HPへ。



▲6月に行われた田植えの様子。子どもたちも元気にお手伝いしました。



地域おこし協力隊員
市来 耕 さん

9月末から10月上旬には稲刈りを予定しています。春から一緒に育ててきた稲を、皆さんと収穫できることを楽しみにしています。

個人的な話になりますが、私は熊本で災害ボランティアに参加しています。地震により被災した地域で、不要となった物の片付けなどをお手伝いしています。高木地区でも9年前の平成29年7月九州北部豪雨で大きな被害がありました。実際に屋根にブルーシートが張られた家や、半壊した家などを目の前にすると、当時の高木地区がどれほど想像を絶する状況だったのか、改めて思いを巡らせます。今も全国、世界各地で多くの災害が起っています。が、被災された皆さんに少しでも穏やかな日々が戻ることを願っています。



夜の図書館で特別なひととき 開館 30 周年を祝う「おはなし会」



8月29日、はき図書館の開館30周年を記念した「夜の星空おはなし会」が、らくゆう館で開催されました。当日は、子どもから大人まで102人が参加。おはなし会では、はき館職員や子どもと遊ぶ会「青い鳥」の皆さんによる紙芝居、ブラックシアターなどが披露され、会場は笑顔に包まれました。

おはなし会後は、当日限定で夜の図書館を開放。普段とは違う真っ暗な図書館で、本の貸し出しやプラネタリウムを楽しみました。参加者は「幼い頃、おはなし会に参加したことを思い出した」「人形劇も楽しかった」と話し、子どもたちはもちろん、大人たちにとっても特別な思い出となる一日になりました。

地元の食材で作る 朝倉市学校給食料理コンクール

7月30日、ピーポート甘木で「朝倉市学校給食料理コンクール」が開催されました。これは、地元食材を使用した「生きた教材」となる学校給食献立を学校給食調理員が考え、制限時間40分以内に調理し、その技術を競うコンクールです。最優秀賞は、秋月小学校調理員の内田藍さんの作った献立で「麦ごはん、牛乳、らっきょうと生姜のスタミナパーク、空心菜の炒め物、トマト卵スープ」でした。

第20回朝倉市民平和祭 戦後81年 改めて平和への祈りを



8月30日、ピーポート甘木で第20回朝倉市民平和祭が開催されました。今年は朗読演劇「シイの木はよみがえった」を上演。31人もの幼い子どもたちが命を落とした「頓田の森の悲劇」を題材とした作品です。子どもたちとともに爆撃を受けたシイの木の視点から、戦争の悲惨さや平和の大切さを語りかけました。地元中高生や団体の有志の皆さんが、鬼気迫る当時の状況を熱演しました。

この日は319人が来場しました。改めて平和の尊さについて考え、戦争の記憶を後世に伝える場となりました。



災害時の備えを支援 非常食セット贈呈式

8月21日、一般社団法人日本地域振興機構、株式会社イシカワから災害避難時用の非常食セットが贈られ、朝倉市役所で贈呈式が行われました。株式会社イシカワの佐々木専務取締役は「災害はいつ起こるかわかりません。防災への取り組みは常に必要だと思います」と話しました。寄贈された非常食は、災害発生時に避難所などで活用する予定です。



甘木川花火大会／流灌頂法要会 朝倉の夜空を彩る満開の花火

8月22日、小石原川甘木橋下流で「第75回甘木川花火大会／流灌頂法要会」が開催されました。会場には、市内外より多くの家族連れや観客が訪れました。約4000発もの迫力ある打ち上げ花火は、訪れた人々を魅了。夜空を彩る満開の花火に、会場からは歓声が上がっていました。

花火大会と同時に行われた流灌頂法要会では、日清・日露戦争や第2次世界大戦での戦没者、平成29年7月九州北部豪雨での犠牲者を供養。ろうそくの火をともした灯籠が川に浮かべられ、辺りは温かい光に包まれました。ゆっくりと川面を流れる灯籠の光が幻想的な雰囲気演出し、訪れた人々は静かに手を合わせていました。



Sansan KBC オーガスタゴルフトーナメント 2026 女王卑弥呼が朝倉を PR

8月27日～30日に行われたKBCオーガスタ（芥屋ゴルフ倶楽部）で、女王卑弥呼が朝倉をPRしました。会場内のブースでは、ふくれんの「福岡育ち果実サイダー」の販売や朝倉市内で開催されるイベントをPR。来場者との交流を通じて朝倉市の魅力を発信したほか、初のテレビ中継にも挑戦しました。会場のにぎわいとともに朝倉の魅力を広く発信することができました。



子どもたちの読書活動や学校教育の充実に 図書カード寄贈

8月27日、公益財団法人福岡市水道サービス公社から、三奈木小学校、十文字中学校、秋月小・中学校へ図書カードが寄贈されました。

この寄贈は、平成5年度から実施されているもので、平成29年度からは図書カードが寄贈されています。本市は水源地域として、長年にわたり福岡市の水道事業に寄与しており、今回の寄贈はその感謝の意を込めて実施されたものです。寄贈された図書カードは、子どもたちの読書活動や学校教育の充実のため大切に活用させていただきます。



あさくらびと

地域で話題になっている人や団体、企業などを紹介するシリーズ。

第59弾は、千年以上の歴史を受け継ぐ伝統芸能「筑紫舞」の舞人として活動している高倉礼佳さん取材しました。

Interview

筑紫舞伝承会

高倉 礼佳さん

東明館高校(佐賀県基山町)1年生。朝倉市在住。学校では茶道部・華道部の部長を務める。伝統芸能「筑紫舞」の舞人として日々稽古に励んでいる。毎年7月に大濠公園能楽堂(福岡市中央区)で行われる筑紫舞の公演をはじめ、神社の奉納や学会のシンポジウム・イベントなどにも出演。

(写真は稽古場所の恵蘇八幡宮で撮影)

「筑紫舞」を朝倉から世界へ広めたい！

筑紫舞との出会い

筑紫舞と出会ったのは小学4年生のとき。運動が苦手だったことから、当初は日本舞踊を習っていましたが、平成29年7月九州北部豪雨が発生。稽古ができないうちに校舎が倒壊し、豪雨の影響で友達が転校したことも重なって気持ちが落ち込む時期がありました。そんな中、日本舞踊でお世話になっていた髪結の先生から筑紫舞を紹介され、体験会に参加しました。体験会では、「宗家から」と誘われて舞ってみませんか？と誘われて舞ってみることに。初めてにもかかわらず自然と体が動き、ピンと張り詰めた空気感がとても心地良かったことを覚えています。

現在は年に数回、恵蘇八幡宮で宗家から稽古を受けています。高校進学後は学業との両立が課題となり、自宅での稽古時間は以前より減少。しかし、限られた時間だからこそ稽古に集中し、その日一番の舞を、一回で表現するつもりで取り組んでいます。

忘れられない拍手と言葉

筑紫舞の魅力はダイナミックで華やかな動きにあります。また、長い歴史を持つ伝統芸能であるため、演目の歌詞や背景に込められた意味を理解して表現することを

心がけています。同じ演目でも、歌詞の受け取り方や表現方法は人によってさまざま。舞人の個性や解釈が舞に表れることも、筑紫舞の魅力の一つだと感じています。

印象に残っているのは、西九州新幹線開業記念で一人舞台を任せてもらった時のことです。当時小学6年生。とても緊張しましたが、500人の観客からこれまで経験したことのないほど大きな拍手をいただき心が震えました。宗家からも褒めていただき、大きな自信につながりました。また、恵蘇八幡宮の新嘗祭で舞を披露したときには、関係者から「朝倉に卑弥呼が舞い降りたような舞でした」と声をかけていただきました。うれしさのあまり涙がこぼれ、「もっと頑張ろう」と思った出来事でした。

筑紫舞の魅力を発信

近年、筑紫舞の舞人は年々減少しており、特に若い世代が少なくなっています。だからこそ、伝統芸能を次世代につなげていくためにも、この美しい舞を末永く継承していきたいと思っています。

最近では外国人の観客も増えていきます。より多くの人々に筑紫舞の魅力を知ってもらうために、朝倉から日本だけでなく世界にも発信していきたいと考えています。

筑紫舞 [筑紫舞朝倉教室(山田166・恵蘇八幡宮内) ☎ 52-0557]

九州発祥の伝統芸能で、その起源は約8世紀までさかのぼります。天平時代の「続日本記」に記述が残されており、神話や信仰を題材とした約200曲の演目が伝えられています。神様に奉納する「神舞」と人を楽しませる「くぐつ舞」から構成される舞は、「反問」や「ルソ足」といった独特の足運びや躍動感ある動きを特徴としており、地域の歴史や文化を今に伝える貴重な文化遺産として受け継がれています。



筑紫舞の今後の披露予定

①美奈宜神社(蜷城)おくら

■日時…10月21日(水)13時30分～

■場所…同神社(林田210)

☎ 同神社(☎ 22-5353)

②朝倉地域文化祭

■期日…11月14日(土)

■場所…朝倉地域生涯学習センター(宮野1997)

☎ 朝倉文化協会事務局(☎ 090-4481-3043)

③新嘗祭

■期日…11月23日(月・祝)

■場所…恵蘇八幡宮(山田166)

☎ 恵蘇八幡宮(☎ 52-0557)



※1 宗家：筑紫舞の伝統を受け継ぎ、演目の保存と後進の育成を担う継承者のこと。
※2 反問：音を立てて足を踏む所作のこと。
※3 ルソ足：片足を斜めに出し、かかとをつけてつま先を上げる所作のこと。

■発行 朝倉市役所 人事総務課 〒838-8601 福岡県朝倉市甘木232-1
☎ (0946)22-1111 ☎ (0946)22-1118 top: city.asakurajp.jp